

中期目標に係る業務実績評価の進め方について

【中期目標期間評価のねらい】

- 中期目標の進捗の確認
- 法人の業務運営状況をわかりやすく社会に示す（府民への説明責任）
- 法人の業務運営の改善、向上

【基本方針】

- 各年度の評価結果を踏まえて5段階の大項目評価
- 記述式による総合評価により、全体評価
- 公立大学法人の評価は、認証評価機関の評価を踏まえる
「大阪府地方独立行政法人の評価の基本的な考え方について」より

【審議項目】（作業イメージ）

- ①中期目標の達成状況の調査（実情の把握）
 - ・特色ある取組み
 - ・特筆すべき優れた実績を上げた取組み
 - ・遅滞が生じている取組み
 - ・活動の効果（成果）
- ②中期目標の達成状況の分析
 - ・達成（未達）の原因（理由）
 - ・改善に向けた取組み
- ③業務実績全体についての総合的な評価

大項目ごとに5段階評価

- ・簡明なディスクロージャー
- ・年度評価で既に詳細な調査分析・評価を行っている点を考慮

①②を踏まえた評価コメント

- ・委員会での審議コメントを集約
- ・過去の評価コメントも参考

（第25回評価委員会（H23.2）で確認した内容）

〔具体的な評価作業の進め方〕

- ◆改めて議論を進めるのではなく、これまでの評価内容のおさらい・再確認
- ◆府民への評価結果の明快なディスクローズ

<大項目評価>

- (1) 法人からの全体説明・大項目毎に自己評価
※公立大学法人の教育研究は、認証評価機関の評価を踏まえる
- (2) 各委員から、大項目毎に以下の取組みを列挙・コメント
 - ・上記【審議項目】①の列挙、②の理由の確認
 - ・今後とも引き続き進めるべき取組み など
 （最終評価の根拠となるもの・過去の評価コメントも参考に）
- (3) 過去（H22含む）の評価結果（5段階評価）を確認し、(2)の内容を踏まえて、最終の5段階評価

【イメージ】

（年度評価）		（今回の評価）
A→A→A→A	毎期年度目標を達成	⇒ A
C→C→B→A	当初は未達も、最終的に目標を達成	⇒ A
A→A→B→C	当初は達成も、最終的には目標未達	⇒ B

<全体評価>

- (1) 大項目評価での審議内容を基にして、事務局にて素案を作成
 - ・全体的な達成状況 例）中期目標を十分に達成
 - ・特筆すべき取組みや成果
 - ・上記の理由・要因分析
 - ・今後とも期待すること 等
- (2) 次の部会で素案を審議、修正や追加を行う

〔各部会の流れ〕

〔1回目の部会〕

- ・進め方の確認
- ・<大項目評価>の(1)(2)

〔2回目の部会〕

- ・<大項目評価>の(3)
- ・<全体評価>の(2)

〔3回目の部会〕

- ・最終案を提示・確認

■参考■（大学の項目）

- ・大学の教育研究等の質の向上
- ・業務運営の改善及び効率化
- ・財務内容の改善
- ・自己点検・評価及び当該状況に係る情報提供
- ・その他の業務運営

■参考■（病院の項目）

- ・府民に対するサービスその他の業務の質の向上
- ・業務運営の改善及び効率化